

第2回 ～つながりあう・ささえあう福智町を目指して～

# 福祉入門教室 を開催しました

福智町社会福祉協議会では、11月に4回にわたり福祉入門教室を金田分館にて開催いたしました。この教室は「ふくし」をテーマに、福祉に関心をもってもらおうと開催しています。内容を簡単にご報告します。



## 第1日目 ふくしに関心を ～ふくしって何?～ 山崎 安則 氏 (筑紫女学園大学教授)

福祉入門教室第1日目ということで、『福祉』についてのお話から始まり、福祉の歩んできた歴史、デンマークの事例をもとに日本の『福祉』の現状の話や、地域での福祉活動の重要性、福祉教育の必要性などを話していただきました。

## 第2日目 あなたが主役！参加型で学ぶボランティアの基礎 今村 晃章 氏 (NPO九州)

参加者は5～6人のグループに分かれ、「ボランティアとは何か」、「ボランティアのイメージはどういったものか」などの話をグループ内でしました。各グループで出た意見をもとに、今村先生より本来のボランティアの意義や目的、心構えやボランティアの楽しみ方などの話をしていただきました。



## 第3日目 福智町のふくし ～福智町再発見～ 犬養 光博 氏 (元福智町民協会長)

犬養氏が1965年から46年間にわたってすごした福智町の歴史と自身の道すがらを照らし合わせながら、この福智町でみてきた「ふくし」の姿や、炭坑の町を次世代の人に伝えていくこと、この故郷の筑豊を誇れる子どもたちを育てていくことの大切さなどを話されました。

## 第4日目 ふくし討論会 ～あなたの思い・わたしの思い～ 加留部 貴行 氏 (九州大学客員准教授)

計4回の入門教室のまとめとして、今回の入門教室で心に残ったこと、疑問に思っていることを5～6名のグループに分かれて参加者同士で話し合いをしました。地域での自主(サロン)活動を通じての見守り、また仲間づくりや活動を行うためのきっかけ作りなどわかりやすく説明していただきました。

